



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために



Kalyan Banerjee

カルヤン・バナネルジー
2011-12年度国際ロータリー会長

No.13

Takasago Rotary Club

週報

高砂

クラブ会長方針

原点にかえり大いに語ろうロータリーを

- ① 会員相互・家族との親睦を図ろう
- ② 会員が中心の明るく楽しい例会運営
- ③ ところを伝える広報をし、仲間を増やそう
- ④ CLPの検討

例会記録 (2011. 10. 7 (金)) 通算2,867回

◆開会

◆国歌斉唱 君が代

◆唱歌 ロータリーソング (奉仕の理想)

◆「四つのテスト」唱和

◆プログラム予定

10月14日 (金)	10月21日 (金)	10月28日 (金)	11月4日 (金)
休会 (定款第6条第1節(C)による)	卓話 米山奨学生 郭 民熙さん	卓話 新井哲三会員 「米山奨学について」 DVD観賞	臨時総会

◆出席報告

本日 10月 7日 会員数49名 出席者 32名 出席率 76.19%
前々回 9月16日 会員数51名 修正出席者41名 出席率100.00%修正

◆MAKE-UP

藤田 茂会員	e-CLUB	10月6日(10月7日分)
小黑 清人会員	e-CLUB	10月5日(10月7日分)
狩野 雄作会員	e-CLUB	10月4日(10月7日分)
丸山 恵右会員	e-CLUB	10月2日(9月30日分)
守光 隆会員	ロータリー財団委員会全体会議	10月2日(9月30日分)
中尾 康三会員	会員増強セミナー	7月9日(9月30日分)

◆お祝い

○出席100%祝

庄司 治会員	24年
中尾 康三会員	21年
後藤 武男会員	20年
西川 敏彦会員	20年
尾上 喜秀会員	15年

○誕生日祝

永野 力会員	荒川 俊雄会員
豊田 克義会員	

○配偶者誕生日祝

伊藤 禮子様(長)	西川 郁美様
信原恵美子様	中尾いく子様
荒川眞理子様	田中 千晶様
坂井 譲様	河合由喜子様

○結婚記念日祝

濱尾 繁会員	伊藤長次郎会員
加茂 良平会員	庄司 治会員
大村 泰司会員	信原 智彦会員
寺崎 道雄会員	片嶋 純雄会員
丸山 恵右会員	



出席100%祝



会員誕生日祝

◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

高砂青松RC 内海 薫会長……先日の合同例会の写真ありがとうございました。
守光 隆会員……先日の高砂万灯祭では、寺崎会員には大変お世話になりました。
有難うございました。

庄司 治会員……出席100%祝を戴きまして。
 中尾 康三会員……出席100%祝を戴きまして。
 後藤 武男会員……出席100%祝を戴きまして。
 西川 敏彦会員……出席100%祝を戴きまして。
 尾上 喜秀会員……出席100%祝を戴きまして。
 永野 力会員……誕生祝を戴きまして。
 豊田 克義会員……誕生祝を戴きまして。
 西川 敏彦会員……妻の誕生祝を戴きまして。
 信原 智彦会員……妻の誕生祝を戴きまして。
 中尾 康三会員……妻の誕生祝を戴きまして。
 坂井 智代会員……主人の誕生祝を戴きまして。
 河合 利昭会員……妻の誕生祝を戴きまして。
 加茂 良平会員……結婚記念日祝を戴きました。
 庄司 治会員……結婚記念日祝を戴きました。
 大村 泰司会員……結婚記念日祝を戴きました。
 信原 智彦会員……結婚記念日祝を戴きました。
 片嶋 純雄会員……結婚記念日祝を戴きました。
 早退2名

◆幹事報告（2,867回）

- ガバナー事務所より、10月のロータリーレート
1ドル=78円の報告が届いております。
- ガバナー事務所より、よりよいサービスのための世界的なデータベースの移行中の報告が届いております。
- ガバナー事務所より、地区スポーツ大会開催場所変更のお知らせが届いております。

10月23日（日） 13:30～16:30

神戸女子大学須磨キャンパス ⇨神戸女子大学ポートアイランドキャンパス

- ガバナーエレクト石丸鐵太郎氏より、ガバナーエレクト事務所開設のお知らせが届いております。 開設日 10月3日（月） 神戸ポートピアホテル 722号室
- 東播磨地区薬物乱用防止指導員協議会より、薬物乱用防止運動に係るキャンペーンの実施についてのご案内と資金支援の協力要請が届いております。
- 高砂市茶華道協会より、東はりま大茶会のご案内が再度届いております。
- 財）ロータリー米山記念奨学会より、2010年度事業報告書・決算報告書が届いております。
- （社福）高砂市社会福祉協議会より賛助・団体会員の加入のお礼が届いております。



西田秀雄幹事

◆会長の時間

各地で太鼓の音が響き、この高砂も秋祭りのシーズンを迎えました。いくら年を取っても胸が躍るのは私だけでしょうか？

私は荒井で郷土芸能「仁輪加太鼓」に携わっておりますので少し紹介させていただきます。

仁輪加太鼓は、三味線を使った歌舞伎、浄瑠璃と同じように、上方独特の芸能であり江戸時代中期頃より始まったものと推定されております。

この仁輪加太鼓も、伝統ある庶民の秋祭りとして継承してまいりましたが、戦後苦しい生活の中で、いつしか中断をしてしまっていました。

しかし、江戸時代から続いてきた郷土芸能「仁輪加太鼓」を絶やしてはいけないと、昭和50年に仁輪加太鼓保存会と青年会を結成し後生に継承すべく復活をさせました。

仁輪加太鼓は、言葉どおり即興の芝居を演じることで、その特色は、太鼓、三味線、若衆の差し歌に合わせて、調子よく掛け合って寸劇を町内の皆様に見て頂くものです。

踊りの舞子、太鼓を叩く乗子は、秋祭りまでの短期間に稽古を重ね、その年の演題にふさわしい屋台の造りものは、創意工夫をし、青年会のメンバーが毎年、手作りで作りあげております。

この地道な努力を評価して頂き、昨年12月22日に高砂市文化財保護条例第3条第1項の規定に基づき「民俗文化財」の指定を頂きました。

今年も10月8日と9日に、素晴らしい寸劇を見て頂くために連日連夜稽古を重ねていますし、江戸時代に描かれた祭りの様子の板絵にも仁輪加舞台の様子がみてとれます。

荒井神社資料館に保存されておりますので、お時間の許す方は是非、荒井神社に足を運んでください。



覚野成広会長

◆本日のプログラム

卓話

「イギリスから見た日本」

アンドリュー・アイネス様

こんにちはアンドリュウです。私の下手なスピーチを聞いて頂いてありがとうございます。ちょうどランチが終わったところなので、休みたい方はご遠慮なく、ぐっすり寝て下さい。あと日



アンドリュー・アイネス様

本語のミスとかもちろん敬語をちゃんと使える自信もないので、ご理解と耳の調整もよろしくお願い申し上げます。

さて自己紹介させていただきます。1974年にイギリスに生まれてすぐ家族とマンチェスターの近くの緑が多いチェシャーに引越しました。不思議の国のアリスにあらわれるチェシャー猫とチェシャーチーズのふたつがこの有名なものです。

シェフィールドで心理学を専攻してスポーツも楽しみました。今も卓球やジョギングすることやハイキングすることも好きです。仕事の方は今フリーランスで英語の講師として個人レッスンと色々な会社で教えています。ミツビシさんとかカワサキさんとかカネカさんとかさまざまです。

今回のスピーチのテーマはイギリスと日本の文化的な違いです。私が日本に来てから良く聞かれたのは、「日本に来たきっかけは何ですか。」です。もしかすると、私にそう尋ねてくる人には、漫画マニアや新幹線オタク、メイド喫茶に興味がある、ゴジラを見て感動してどうしても日本に行きたくてしょうがなかった…。というような背景があったのかもしれない。しかし残念ながら、特にこれといった個性的で素敵な理由はありません。強いて言うとするれば、私が日本に来たのには二つの理由に分けられるでしょう。

一つ目はちょうど心理学の勉強を終えた後のことです。仲の良い友達とパブから家まで帰る途中に考え込みながら、「あそこにある家はざらりと並んでいて個性や違いはなくて寂しく感じるな」と思っていました。それからもう少し考え込み、「でもそれだけじゃなくて、あの家の窓の前に居る人々も、まるでざらりと並んでいる隣の家のように見える。生活の違いはそんなにもないのかもしれない」と強く感じました。

その瞬間に自分の人生の設計図を想像して、全く違いのないように見える隣人たちのように過ごす一生について抵抗が生まれました。それが一つ目の理由です。

その後オーストラリアとタイ、マレーシアを巡る旅行をしばらくする事にしました。しかし自分の経験値を満たして帰った後にも、その気持ちはなかなかおさまらず、またどこかへ行きたいなと思いつけました。そんな時に個人広告を見ていて、ある広告が目につきました。そしてそれに応募をして面接を受け、住んでみたい場所はありませんか…と聞かれました。そしてガイドブックを調べ、日本の関西は良いなと思い、関西を希望し、数ヶ月後姫路に到着しました。それが2002年4月でした。こういった経緯から私は「あなたが日本に来たきっかけは何ですか」と聞かれた時には時間を節約するために「気分転換の為でした」とよく答えています。

さあ今のスピーチのテーマは文化の違いです。だから進みましょう。

日本に来る前は、富士山や、サムライ、寿司、新幹線や芸者さんといったようなガイドブックから得られるような情報しか全く持っていませんでした。それにも関わらず駄目元で、清水寺の舞台から飛び降りるように行くほうが自分が今、将来の設計図としてたてている生活を送ることよりも楽しそうだと思いました。

ちょうどその時の私の持つ日本についての知識は、一般的なイギリス人そのものでした。

それではその一般的なイギリス人は、どのようなイメージを日本に対して持っているのでしょうか？ 比喻で、ジグソーパズルをあげさせていただくとわかりやすいかもしれません。

ん。そのパズルのピースは様々な所から集められています。

インターネットやテレビ、村上春樹の小説や映画のラストサムライなどです。

つまりマスメディアからイギリス人に、日本についての情報が伝わって来ます。ほとんどは既成観念かもしれません。

日本人はよく残業をし、グループ活動を好み、そしてカメラが大好きです。

そのようなイメージは珍しくないとは言えませんが、もちろん表面的なステレオタイプに他ならないでしょう。その事について、私は最近日本に来ていた母が持った印象に注目してみました。母がまず気づいたのはコンビニエンスストアで働いている店員でした。仕事に対する態度は良く、誇りも高く見え、物凄く丁寧です。コンビニでも温泉でも、皆は母を気遣うように努力し、とても親切にしてくれました。特に治安も安全に保たれています。

例えば店の店の前に置いてある高級ステレオがありました。通行人は誰も全く気にせずに、盗もうともしませんでした。イギリスだとあっという間にそういったステレオは誰かに盗まれてしまいます。こういった事から、私の母が一番に日本について持った印象は、日本人はやさしく、自分を犠牲にしてまで他人を手伝い、気遣ってあげられる、という事でした。やはり自ら色々体験をしないと、固定観念以外に他の国の文化や社会が分からないという事は残念なことです。

イギリスと日本で働いた経験があるという私の面から見ると表面的に日本人はなかなかサボろうとしなくて律儀に自分の役割を果たして、最後まで芸術家か何かのように何の仕事でもきちんとします。その一方イギリス人はチャンスがあればこっそりタバコを吸いに行ったり、ボスが居ない間に休憩時間を延長したり長い間同僚と一緒に世間話をしたり冗談を交わしたりします。それは職場に居るイギリス人の芸術です。

あと表現の方法を理解するとその国の背景や文化や心理状態が明らかになるって良く言われます。その面から判断すると各国の違いがはっきり分かるようになると思います。日本に来てほんの少しの間、耳にする単語は日本人の心を表したり表さなかったりするのだと誰でもすぐ理解すると思います。私には言い表せないけど、興味深くてそれも生活上に役に立ったのはアマンボ、花粉症、柔軟剤、肉じゃが、優柔不断、盲導犬、うろこぐもなどです。ああそういうふうに使われているのか、あるいはそういう漢字の読み方かと分かったら面白かったです。で、日本人の心理状態が表せるかもしれない表現は、頑張ります、我慢します、お願いします、お疲れ様などです。もうちょっと時間があればこのような日本ならではの独特な特殊な表現が思い浮かぶに違いないのですが、時間が限られていてすみません。これらの単語は何の共通点があるかという私にとっては相手の立場を尊敬することであって義理と体面も含まれていると思います。

それ以外に良く聞かれるのは日本に来る前のイメージと事実は一致しますか？来る前にある友達は日本はめっちゃ高いでって言ってました。ナリタ空港に居る間に雑誌と飲み物を買っただけで三千円もするで日本はばり高いでほんまにっていう風に言いました。だが実際来たら事実は違います。デフレのおかげで物価は思ったより安いです。でもなんと言っても一番感動したのは前に言ったように治安です。いわゆる通勤地獄の時でも日本人

は歯を食い縛って我慢して文句を言わず目的地まで立ちっぱなしです。イギリスだと文句言う人は珍しくなくて口喧嘩にまでなると言っても過言ではありません。やっぱりストレスを発散する様にある程度中にためるより友達と一緒に文句を言うのがよいことだと思いますが下手にすると暴力につながるかもしれません。とにかく日本人は電車のアナウンスがうるさくても耐えて、吠えている近所迷惑をかけてる犬がいても文句をなかなか言わなさそうです。私の意見は間違っているかもしれないですが、それはイギリスと日本の大きな違いの一つだと思います。

最後に数えきれないほど日本とイギリスの違いはありますが、やっぱり言葉の違いは面白いものだと思います。それはこのスピーチの終点です。

私が思っている日本語の特徴は方言、尊敬、と決まり文句です。私が思っているイギリス英語の特徴はなまり、とスラングです。広島に行った時、耳に入って来た方言は面白かったです。ご存知の様に広島の人々は文章の最後にジャケンを付けます。日本人にはあんまり面白くないと思うんですが方言って英語にはあんまりないんです。代わりに話し方つまりなまりが強かったらその人はどこに住んでいるのか判断の可能性は高いです。ある時、神戸にあるパブにいて初めて会うイギリス人と話してる時あっチェシャーの出身やな一ってそのイギリス人に聞かれました。何を言っているか分からない時はきっとその人はスコットランド出身です。その一方日本では決まり文句は多いです。

とくに最近 JR 電車に乗っているときに耳にするのはお詫び申し上げます、とか恐れ入りますとかは流行らしいです。日本人は謝るのが好きなようです。

ではお聞き下さってありがとうございます。何かの質問があればご遠慮なく。



